



■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	司書若しくは経験者など専門的知識を持つ図書館職員の人数	人	目標	6.00	6.00	6.00
			実績	5.00	5.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	図書等貸出し冊数（本館・分館含）	冊	目標	92,000.00	92,000.00	93,000.00
			実績	78,540.00	70,365.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 総合計画第1章5節の6豊かな学びと創造のまちづくりに当てはまる。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 市民のライフスタイルに合ったゆとりのある学びの実現は、行政でなければならない。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 図書館システムを活用しインターネット等による予約貸出の定着を図り、図書サービスの更なる向上を図る。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 行政でなければならない事業であり、替わるものがない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 類似事業はない。学校図書室との連携を図り、利用拡大に繋げていく。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 会計年度任用職員制度開始により労務管理の負担が増大している。学校への団体貸出・中央出張所へのインターネット予約貸出といった新業務が始まるため、現状人件費削減の余地はないが、役割整理の見直しを心がけ削減に繋げていく。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 交通弱者・高齢者・身体障害者等へのサービスについて、朗読ボランティアと連携しながら、また、高齢者施設等への団体貸出の周知広報に努め利用拡大を図る。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	インターネット等を活用した予約貸出の周知・定着を図り、図書館サービスの向上を目指す。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：生涯学習課長 仲澤 勤
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 図書館貸出システムを有効活用しインターネット等の予約により、図書館に来館せずに図書資料を借りたり返却できるなど新たなニーズに対応した図書館運営を進める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：教育部長 田崎守一
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 誰もが使いやすい図書館となるよう一層のサービス向上に努める。		

# 事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度							
事務事業名	蔵書整備事業（政策）						事業類型	管理・運営
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令 図書館法 かすみがうら市図書館条例
			10	04	04	05	政策経費	
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象
	(2) 生涯学習の充実						市民協働	行政主体
	1 生涯学習						担当課係等	図書館
③生涯学習施設の整備充実								図書館
事業期間	継続（平成27年度～）							

## 現状把握の部 (D0)

【目的】 住民ニーズに応じた図書、視聴覚資料、雑誌の計画的な購入と館内蔵書の点検整備。	【関連事業】 図書館運営事業	
【期待される効果】 市民が読書等を通して心豊かな生活をおくることができる。	【対象者】 市民および近隣住民	
【全体概要】 稼働率の高いものから郷土資料まで、計画的に図書などを購入する。同時に、読書ボランティアの協力を得ての定期的な蔵書点検作業の実施と適正な蔵書数を目指しての不要図書のリサイクルにも取り組み、使いやすく、借りやすい図書館を目指す。	【特記事項】	
【平成30年度 事業内容】	【令和元年度 事業内容】	【令和2年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書・視聴覚資料の購入</li> <li>・蔵書点検作業</li> <li>・不要図書の除籍・リサイクル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書・視聴覚資料の購入</li> <li>・蔵書点検作業</li> <li>・不要図書の除籍・リサイクル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書・視聴覚資料の購入</li> <li>・蔵書点検作業</li> <li>・不用図書の除籍・リサイクル</li> </ul>

## ■事業費

		H30年度	R01年度	R02年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	5,719	6,149	6,230
歳入計（千円）		5,719	6,149	6,230
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	18 備品購入費	5,719	6,149	6,230
歳出計（千円）（A）		5,719	6,149	6,230
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 1.31 予 0.00
職員人工数		1.05	0.45	0.40
職員人件費（B）		7,893	3,489	3,122
総事業費（A）＋（B）		13,612	9,638	9,352

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	不要図書【除籍図書】の有効活用冊数 リサイクル、ミニ文庫への活用	冊	目標	3,500.00	3,500.00	3,500.00
			実績	3,195.00	4,735.00	0.00
	蔵書点検日数（本館、分館） 本館7日、分館3日		目標	10.00	9.00	9.00
			実績	10.00	10.00	0.00
成果 指標	図書蔵書数（本館、分館）	冊	目標	135,500.00	135,000.00	134,500.00
			実績	137,063.00	136,536.00	0.00
	図書等貸出冊数（本館、分館）		目標	92,000.00	92,000.00	93,000.00
			実績	78,540.00	70,365.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 総合計画の1章5節6の豊かな学びと創造のまちづくりに結び付く。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 行政でしかできない事業である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 人生100年時代に向けて、住民のライフステージの変化に伴う多様化するニーズに沿った蔵書整備及び将来を担う小中学生の学びに寄与するよう計画的な図書購入をする。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 人生100年時代を迎え、自発的な学びは今後ますます必要になっていく。市の歴史を知り文化を育むうえで替わりになる施設はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 類似事業がない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 事業費の削減は、蔵書数に影響するので削減できない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 幅広い住民ニーズに沿った図書を購入し、利用者を拡大させることで公平・公正になる。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	稼働率の高い図書購入のため積極的に利用者の意見等を取り入れる。また、未来のかすみがうら市をつくる子ども達の読書習慣を育むため学校との連携を強化し、小中学校生に重点を置いた図書の充実を図る。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記者：生涯学習課長 仲澤 勤		
改革・改善の具体的な内容（改革案・実行計画） 利用者本位の図書館とするために意見聴取の機会を増やし、稼働率の高い本の購入、配置する。借りやすい図書館のための不要図書の除籍を進め蔵書数の適正管理に努める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記者：教育部長 田崎守一		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 利用者の要望を聞き取ることで稼働率の高い図書の購入を心掛けるとともに不要図書のリサイクルにも取り組む。		

# 事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度								
事務事業名	ブックスタート事業（政策）						事業類型	広報・啓発	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			10	04	04	07	政策経費		
総合計画体系	5. 未来を担う若者を育むまちづくり						総合計画対象	対象	
	(1) 次世代の育成支援						市民協働	行政主体	
	1 児童福祉						担当課係等	図書館	
①教育・保育サービスの充実						図書館			
事業期間	継続（平成27年度～）								

## 現状把握の部 (D0)

【目的】 親子のきずなを深め、本の好きな心豊かな子どもを育成する一助となるよう、家庭での絵本の読み聞かせを習慣とするきっかけづくりとして実施する。	【関連事業】 母子保健事業
【期待される効果】 子育て支援と図書館利用推進	【対象者】 市内在住4ヶ月児の保護者
【全体概要】 子育て支援の一環として、また、新しい図書館ファンを開拓するため、民生委員児童委員及び読書ボランティアの協力を得て、「4ヶ月児健診」の会場で赤ちゃんとその保護者を対象に、絵本の読み聞かせと本を読むことの大切さを説明し、絵本やアドバイス集をバックにして手渡す。	【特記事項】 保健センターの日程に併せて、事業を展開している。
【平成30年度 事業内容】 絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布	【令和元年度 事業内容】 絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布
【令和2年度 事業内容】 絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布	

## ■事業費

		H30年度	R01年度	R02年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	370	370	380
歳入計（千円）		370	370	380
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 需用費	370	370	380
歳出計（千円）（A）		370	370	380
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 2.70 予 1.60
職員人工数		0.20	0.05	0.30
職員人件費（B）		1,504	388	2,342
総事業費（A）＋（B）		1,874	758	2,722

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動指標	ブックスタート実施回数	回	目標	12.00	12.00	12.00
	年間のブックスタート実施回数		実績	12.00	11.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	4か月検診参加親子でブックスタートバックを受け取った割合	%	目標	100.00	100.00	100.00
			実績	98.79	91.62	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 総合計画の5-1次世代の育成に結び付く。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 子育て支援の一環として、また図書と親しむきっかけ作りとして市が実施すべき事業である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 対象者が限定されている。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 長く定着した事業であることや、この事業に類似する事業がない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> すでに保健センター・民生委員と連携して行っている。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 民生委員にはボランティアで協力依頼を行っている。対象者が限定されていて一冊ずつのみの配布である。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 四ヶ月児健診者全員が対象。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	絵本と一緒に図書カード申込書を配布している。図書館の利用・来館に結び付くよう進めていく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記者：生涯学習課長 仲澤 勤 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 新たな図書館ファン獲得のためにも事業継続する。対象者全員配布に向け保健センターと連携して進める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記者：教育部長 田崎守一 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 新たな図書館ファン獲得のためにも事業継続する。		